



SOCIAL

さらなる品質向上のために

関連する
主なSDGs



SOCIAL

社会的基盤の形成や維持といった建設業の基本的役割と責任を十分に果たすとともに、多様化するお客さまのご要望にお応えするべく、さらなる品質の向上を目指しています。フジタは1996年より品質マネジメントシステム(ISO9001認証取得)を構築し、下図のような一気通貫の品質マネジメントプロセスを運用しています。そして、お客さまの求める品質をよりの確に実現するため、経営者がシステム全体の運用状況を定期的に点検し、継続的な改善に努めています。

また「品質・環境・物損事故報告制度」を設け、施工中・施工後に事故が起きた場合には、速やかに問題を解決し、再発防止策を水平展開する体制を整えています。アフターケアについては、情報の一元管理、全店で共有できるデータベース「お客さま対応システム」を構築し、本社・支店が連携して迅速に対応できる体制を整えています。不具合情報は研修などの教育にも反映し、品質の向上と事故の未然防止に役立てています。



上席執行役員
品質・環境本部長

組田 良則

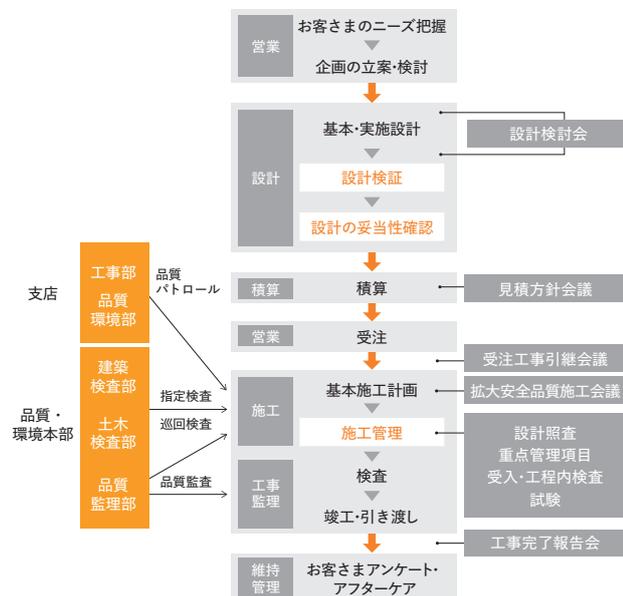
施工プロセスを遵守した品質管理の徹底

品質確保のための管理体制の強化

品質・環境本部内の建築検査部、土木検査部が独立した立場で検査を実施し、品質管理体制を担っています。重要工程での品質チェックを行うとともに、検査を通じて施工水準向上や工事成績評価点向上のための指導を実施しています。品質監理部による品質監査では作業所の品質管理プロセスを点検し、継続的な品質確保に努めています。

2025年度からは、各支店に品質環境部を新設し、現場に密着した品質管理体制の強化を図っています。また、検査の第三者性と独立性をさらに高めるため、支店に所属していた検査役を品質・環境本部の直轄とする体制に移行しました。この組織再編により、より客観的な立場から品質

品質マネジメントプロセス



チェックを実施し、全社的な品質水準の向上と均質化を推進しています。

フロントローディングによる品質確認の徹底

工事着工前の「拡大安全品質施工会議」を39作業所で開催しました。2024年度から本部管轄でより多くの関係者が参加する形式に拡充し、図面内容のチェックや過去の品質事故事例を踏まえた対策を協議することで、品質リスクの早期発見と対応を強化しています。2025年度からは専門技術に特化した職員が参加してさらなる改善を図るなど、より効果的なフロントローディングになるように取り組んでいます。

真因分析と再発防止の組織風土を醸成

万が一、品質物損事故が発生した場合には即時に情報が報告され、全社で対応できる体制を整備しています。事故報告会では真因分析と再発防止策の検討を行い、各支店でも定期的に報告会を開催し情報共有を図っています。社内イントラネットには過去の事例をキーワード検索できるシステムを構築し、全社展開するとともに社員教育プログラムに事故事例を教材として活用し、さまざまな教育機会を通じて同様の事故を二度と起こさない組織風土の醸成に努めています。

2025年度 品質向上に関する重点取り組み事項

- 品質確保のためのフロントローディング
- 施工管理プロセスの遵守徹底とチェック
- 即時報告徹底と関係者を巻き込んだ早期対応
- 品質改善活動の推進